2026 年度　全国学力学習状況調査　結果分析

【国語】

本校の概要	課題	改善の方向
＜内容＞ □「言葉の特徴や使い方に関する事項」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	■単語の類別について理解することや文脈に即して正しく漢字を書き、語句を文章の中で使うこと。	○ 毎授業で実施している漢字テストを継続するとともに、漢字や語句の用法について指導する機会を増やす。
□「情報の扱い方に関する事項」 ・全国平均を下回っている。	■情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うこと。	○ 説明的文章の学習において、根拠となる情報の収集方法や、説得力のある主張につながる情報について考える活動を充実させる。
□「話すこと・聞くこと」 ・全国平均を下回っている。	■必要に応じて質問しながら話の内容を捉えることや互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめること。	○ 相手の発言を正確に捉え、質問や意見交流を通して考えを深めるとともに、話し合いの目的に応じて意見を整理する力を育成する。
□「書くこと」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 □「読むこと」 ・全国平均を上回っている。	■段落相互の関係を明確にし、文章の展開を工夫すること。	○ 文章全体の構成や段落相互の関係を意識させ、目的や意図に応じて、論理的で分かりやすい文章を書く力を育成する。

2026 年度　全国学力学習状況調査　結果分析

【数学】

本校の概要	課題	改善の方向
＜領域＞		
□「数と式」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	■同類項の意味を理解することや統合的・発展的に考え、事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明すること。	○ 計算過程を振り返り、文字式の計算のきまりを確認するとともに、条件を変えて考察の範囲を広げる学習活動を充実させる。
□「図形」 ・全国平均を下回っている。	■筋道を立てて考え、証明することや具体的な事象を基に、証明する事柄の仮定を見いだすこと。	○ 根拠を明確にした上で、自分の考えを数学的な表現や言葉を用いて説明する活動を充実させる。
□「関数」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。	■与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ること。	○ 表・式・グラフを関連付けながら、数量の関係や変化の特徴を考察する学習活動を充実させる。
□「データの活用」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	■データの傾向を的確に捉え、判断の理由について根拠を基に説明する。	○ データを収集・整理し、複数の視点から分析した結果を基に、自分の考えを説明する活動を充実させる。

2026 年度　全国学力学習状況調査　結果分析

【英語】

課題	改善の方向
■日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ること。	○目的や場面、状況等を明確にした上で、複数の情報を含む英文を読み、自分にとって必要な情報を判断して読み取る学習活動を充実させる。また、読み取った情報を基に、目的に応じて情報を選択したり、他者と共有したりする言語活動の充実。
■日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くこと。	○身近な話題について、自分の考えや気持ち、その理由や具体例などを整理し、文章の構成やつながりを意識しながら、まとまりのある英文を書く学習活動の充実。また、書いた文章を互いに読み合い、内容や表現を見直す活動を通して、自分の考えをより分かりやすく伝える力を育成する指導の充実。
■音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、読むことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けること。	○語彙や文法などの知識を個別に習得するだけでなく、目的や場面、状況等に応じて英文の内容を読み取る言語活動の充実。また、既習の語彙や表現、文法事項を繰り返し活用しながら、文脈の中でそれらの意味や働きを理解し、英文の概要や要点を捉える力を育成する指導の充実。